

## ～ドイツの歴史、誇り、そして日本人に勧めたいこと～

毎年、大人気の『国際文化理解講座』。今年は「日本・ドイツ交流160周年記念」にちなみ「ドイツ文化」を取り上げました。ドイツは車、精密機器、音楽、ワイン、ビール、ソーセージなど、私たち日本人にとって魅力的で馴染み深い国です。講師のクリスチャン・ブーディツヒさんに講座で取り上げられたカーニバル、そしてドイツと日本についてお聞きしました。



## ドイツ連邦共和国

面積 357,000km<sup>2</sup>  
人口 約8,319万人  
首都 ベルリン  
言語 ドイツ語

## Q1 ドイツのカーニバルはどのようなものですか？

毎年11月11日11時11分という「11」が並んだ特別な時間から始まります。カーニバルは2月下旬の「灰の水曜日」まで続き、5番目の季節と言われる特別な期間になります。地方によってパレードや祝いはさまざまですが、最終週の木曜日、「女のカーニバル」<sup>(注1)</sup>から祭りのピークが始まり、続く「バラの月曜日」<sup>(注2)</sup>には人々が大通りに集まり、さまざまな衣装を着て、盛大にパレードをします。私も子どもの頃は学校から参加する、最高にワクワクする行事でした。



カーニバル(謝肉祭)

カーニバルは、「灰の水曜日」<sup>(注3)</sup>からイースター(復活祭)までの断食(肉、アルコール、菓子など嗜好品を断つ)を含めた宗教行事でもあります。

(注1) 女性が男性のネクタイ(権力の象徴)をハサミで切る風習がある日。別の地域では「汚れた」「脂ぎった」木曜日とも呼ばれる。  
(注2) 語源はライン地方の方言「rhusen」で狂乱を意味するなど、諸説ある。  
(注3) カトリックの司祭が戒めとして信者の額に灰で十字を書くことに由来する。

## Q2 カーニバルで特別なものはありますか？

「ベルリーナ」というお菓子です。ドーナツの中にマーレードやクリームなどが入っていて、粉砂糖がふられています。1年中売られていますが、カーニバルの時期はいたずらで「マスタード」を入れたものなどを混ぜ、家族や仲間に食べさせて驚かせたりします。



ベルリーナ

## Q3 故郷について教えてください。



ガラスの象

出身地のハムはドイツの西に位置する人口18万人の小さな町ですが、15世紀にはハンザ同盟の強力な同盟都市であり、近代では重工業を牽引したルール工業地帯として、炭鉱と鉄鉱業の盛んな町でした。すでに炭鉱は閉鎖されましたが、跡地の広大なエリアは「マクシミリアンパーク」と呼ばれる公園に生まれ変わりました。炭鉱のかつてのシンボルだった建物を土台に巨大な「ガラスの象」のモニュメントが作られ、現在のハムのシンボルになっています。

## Q4 観光にお勧めの場所はどこですか？

日本人はライン川やノイシュバンシュタイン城を思い浮かべると思いますが、私はドイツが東西にわかれていた、長い歴史を感じられるドレスデンやベルリンが好きです。

ハムのあるノルトライン＝ヴェストファーレン州では、ケルンの大聖堂が有名ですし、エッセンにはクリスチャン・ブーディツヒさん

世界遺産「ツォルフェライン炭鉱業遺産群」として、世界で最も美しいと言われる鉄工所と炭鉱が広がっており、現在は夏には屋外スイミングプール、冬にはアイスリンクもあります。このようにドイツには昔の名残が数多く残っています。



世界遺産「ツォルフェライン炭鉱業遺産群」

## Q5 お国自慢をお願いします。

ん～難しい(笑)。そうですね、誇りに思うのはやはりエンジニアです。ドイツの製品はクオリティが高だけでなく、革新的な技術を駆使しています。それから、ドイツ人は問題を解決することに優れていると思います。10年後にむけて、経済は成長し続けていますし、ヨーロッパの中心国としてこれまでの歴史を受け止め、次世代のためにヨーロッパ諸国に働きかけています。

## Q6 ドイツ人と日本人が似ているところは？

時間に正確、きれい好き、優れた技術力などです。

例えば、日本のビールはドイツの味にとっても似ています。それは日本人が本場のドイツから醸造技術を得て、同レベルかそれ以上の美味しいビールを作ろうとするからでしょう。日本は技術を取り入れることがとても上手だと思います。

## Q7 日本の習慣でよいことは？

出張に行くと、みんなその土地のお土産を買ってきてくれることです。各地の美味しいお菓子をいただくのは嬉しいです。ドイツにはそのような習慣はありません。その土地ならではの名物はありますが日本のようにたくさんの種類のお菓子は少ないです。

## Q8 日本人に勧めたいドイツの習慣は？

仕事とプライベートな時間を充実させる「ワークライフバランス」です。

ドイツでは1年間に最低24日間、有給休暇を取る必要があります。これとは別に、夏休みは少なくとも2週間は取ります。それにフレックスタイム制で、好きな時に会社へ行って仕事ができます。普通は朝7時から8時に出勤して、午後3時から5時には退社することが多いです。

一方、日本は1週間の休みを取ることもさえないですし、朝から夜9時まで会社にいるのは仕事じゃないよ…と感じます。仕事は大事ですが、自分の時間をきちんと持つことはもっと大事なことです。

ドイツではお誕生日にケーキを持ってきて皆で祝います。仕事仲間とのこのような時間もとても大切です。



インタビューの様子

ドイツ語通訳  
ボランティアの  
三橋さん